

映画“沖縄から叫ぶ・戦争の時代”の紹介

(7月14日 受付13:30 開演14:00～・生涯学習センター)

ところざわ倶楽部広報誌“広場”、「戦争と平和！」の特集では多くの方々のご意見が投稿されております。このドキュメンタリー映画では現在の沖縄の実態を紹介しています。(参加費500円・事前申し込みは不要です)



制作 湯本雅典 撮影 湯本雅典、PEACE
ナレーター 笠原真弓 音楽 ジョニーH、多田弘一

2019年7月14日(日)
14:00～16:00
(開場 13:30)

■所沢市生涯学習センター
多目的室

所沢市並木6-4-1・04-2991-0303

・西武新宿線「航空公園駅」東口より徒歩17分
「航空公園駅」東口発バスで「秩父学園入口」
下車徒歩1分

■参加費 500円

「沖縄に取材に入る前はこんなタイトルになるとは思いませんでした。しかし、沖縄県辺野古や離島(宮古島、石垣島、与那国島)そして、鹿児島県奄美大島に入り、私が今まで見たこともない光景を見たとき、このタイトルしかないと感じたのです。巨大な基地が今作られ、これからも作られようとしているのです。」と湯本さんは書かれています。「見たことのない光景」を、私たちは知らなくて良いのでしょうか?6月になってやっと報道され始めた秋田県の迎撃ミサイル「イージス・アショア」の配備の問題ともつながります。本土のマスコミが伝えない沖縄の今を伝えるドキュメンタリー映画(61分)です。伝えたい仲間が広がることを祈って計画しました。

「沖縄から叫ぶ 戦争の時代」上映実行委員会 連絡先:宮良 090-9371-7276